

(進路) 葵中学校 2年

さまざまな職場での体験を自分の将来に生かそう

4月～11月(48時間)

1 ねらい

昨年度、2年生はサービス業の職場を知るための社会見学、岡崎市の文化や興味のある職業を知るための調べ学習などを通し、自分の将来へと続いていく歩みのスタートラインに立つことができた。その後、職場での業務を実際に体験し、やりがいや大変さなどを具体的に知るための学習に取り組む運びとなった。中学生にとって、職業に関する情報といえ、メディアを通して得るものや家族・知り合いなどから見聞きするものにほぼ限定されているといえるだろう。そこに、生の体験でなければ決して味わうことのできない感動や発見が加われば、今後の進路選択に向けて計り知れないほどプラスとなり、大きな指針となるに違いない。このような取り組みの中で彼らが自分自身を見つめ、さらには「生きる」ということを実感できれば、進路選択を含む今後の成長につながると考え、本実践に取り組むことにした。

2 実践の概要

(1) 年間活動計画

学期	月	活 動 内 容
一 学 期	4	<小テーマ> (課題設定能力) <b>働くことの意義について考えよう</b> ○人はなぜ働くのかを考える。
	5	<小テーマ> (問題解決能力) <b>自分が体験したい職業について調べよう</b> ○昨年度の活動を生かし、より深化した職業調べをするための計画を立てる。 ○興味がある職業を複数調べてまとめる。
	6	<小テーマ> (コミュニケーション能力) <b>名古屋港水族館の飼育員さん、海上保安庁職員さんから学ぼう</b> ○2人の話を聞き、仕事の内容や仕事に対する思いを知る。 ○2人の話から、義務・責任の大切さについて考える。
	7	<小テーマ> (コミュニケーション能力) <b>農業体験学習を通して作ること、育てることの大切さを知ろう</b>
	8	○食糧を生産するための仕事である農業のやりがいや大変さを感じ取る。 ○自分の生命が農業に携わる方々にも支えられていることを知る。
	9	<小テーマ> (コミュニケーション能力) <b>職場体験学習を通して働くことの尊さを知ろう①</b>
	10	○事業所までのアクセス調べや事前訪問などを自分の力で行う。 ○職場でのマナーや協調性など働く上で必要なものは何かを考える。
	11	<小テーマ> (問題解決能力) <b>職場体験学習を通して働くことの尊さを知ろう②</b> ○職場に対するイメージを持って参加し、働くことの意義を学ぶ。 ○文集の原稿を執筆し、学習の足跡を残すと共に今後の進路について考える。

## (2) 実践内容 (第2学年)

### ① 名古屋港水族館 (6月4日)

今年度は飼育員と海上保安庁職員の話のを伺う機会に恵まれた。海洋生物の生命を預かることと命がけで人命を救助することのいずれにも、仕事への大きな責任感や生命あるものへの優しさが満ちていることを、生徒たちはしっかり感じ取っていた。



### ② 農業体験学習 (8月18日～21日)

本校の保護者たちには給与所得者が多いこともあり、このような体験は初めてという生徒がほとんどであった。それ故に、生命あるものに携わる職業を通して得られるものは、想像以上に大きいはずである。暑い8月下旬の朝方から夕方にかけて行われるという過酷な条件下ではあったが、それぞれの事業所で体験に入った生徒たちは、最初こそ慎重に作業を進めていたものの次第に熱が入り始め、無心で取り組むようになった。彼らの生き生きとした表情や爽やかな笑顔は、自分が生きていることを再確認しているかのように見えた。



### ③ 職場体験学習 (10月15日、16日)

事前の調べ学習などを通して、生徒たちは自分なりにイメージをもって事業所に赴いた。各教師が担当事業所を訪れると、彼らは予想以上の真剣さで作業に取り組んでおり、称賛の言葉を頂くこともしばしばであった。中には、時期的・物理的などの問題から受け入れ先が希望通りにならなかった生徒も見られたが、担当者の懇切丁寧なご指導のお陰で成就感を味わうことができた。生徒たちのイメージは生きた学習を経て明確なものになり、自分の将来への思いをより強くした様子が、学習後の多くの感想から窺われた。



## 3 実践を振り返って

この実践を通して、生徒たちは将来の自分の生き方をイメージすることができた。そのことによって、漠然とした毎日を送るのではなく、学校の中でも目的意識をもって生活できるようになった。1年生から2年生の取り組みを終えた彼らが、これから自力で進路を選択するために適切な支援ができるよう、今後も充実した実践を心がけていきたい。